

巨樹・巨木百選



### 安蔵寺山の大ミズナラ

- ・樹齡 600年
- ・幹周 488cm
- ・樹高 30m

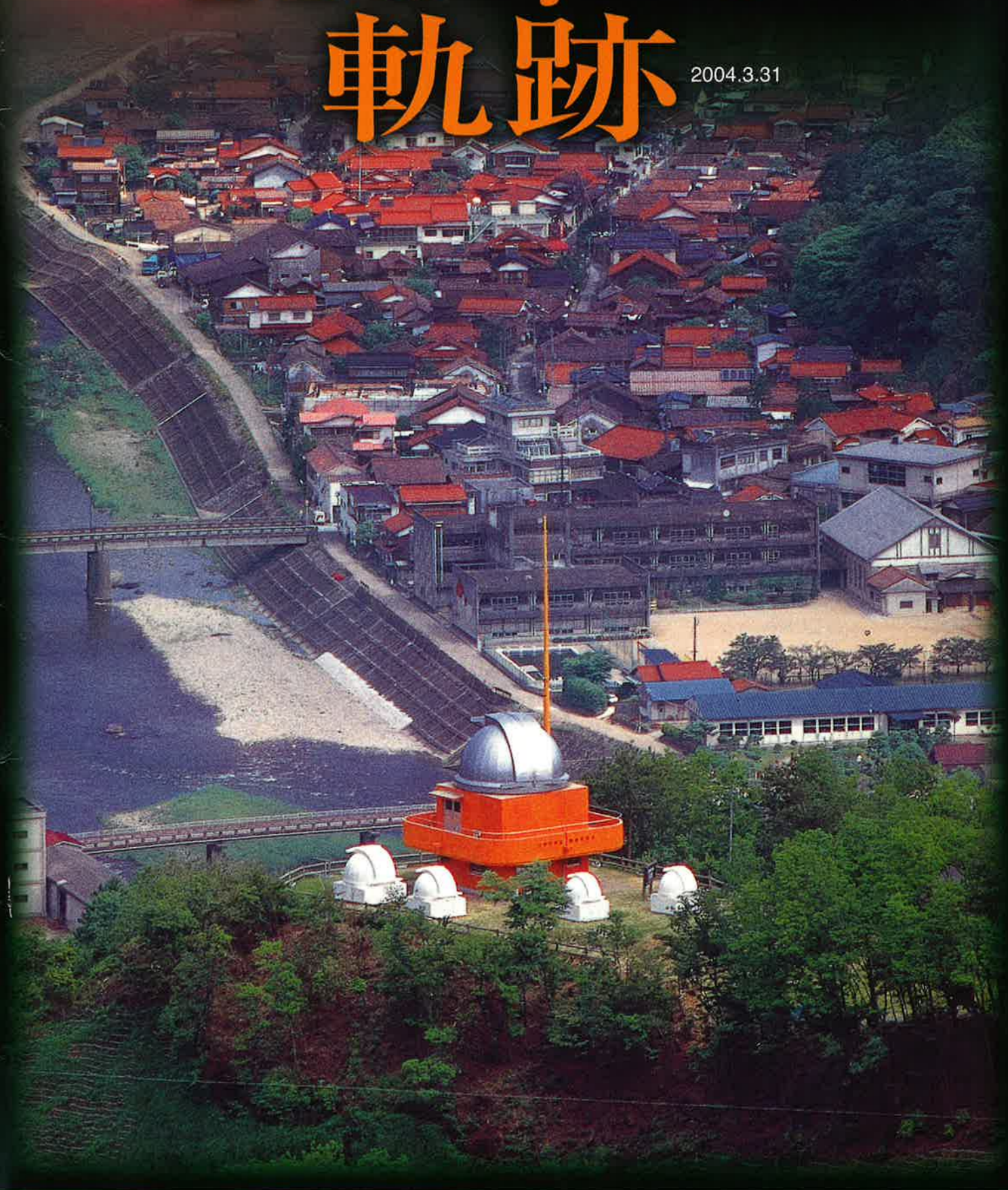
発行・編集 島根森林管理署日原事務所  
〒699-5221 島根県鹿足郡日原町大字日原245-1  
TEL0856(74)0221

The Shimane District Forest Office of Nichihara Town  
closes the history of 115 years.

島根森林管理署日原事務所

# 115年の軌跡

2004.3.31



## 島根森林管理署日原事務所の沿革

明治2年	藩有林、社寺有林が上地され官有林となる。
19年	林区署官制公布、本事業区の官有林は、島根県が管理。
22年	広島大林区署に引継ぐ、浜田派出所設置。
23年	吉賀小林区署を津和野町に設置。
26年	津和野小林区署と改称。
42年	小林区署は日原町に移転し、日原小林区署と改称。
大正2年	広島大林区署が廃止され、大阪大林区署の所属となる。
13年	官制改正により日原営林署と改称。
昭和39年	営林署庁舎を日原町日原245-1に新築、移転。
平成元年	日原営林署創立百周年
11年	抜本的改革に伴う組織再編により島根森林管理署日原事務所と改称。
16年	平成16年3月31日を以て、日原事務所を廃止。

## 歴代署長・所長

歴代	氏名	着任年月	在職期間	歴代	氏名	着任年月	在職期間
初	古越 庄助	明治22.	不詳	26	白井 弥栄	昭和30.11	1.1
2	田村 四郎	明治23.	〃	27	池沢 宗一	昭和31.12	2.7
3	阪本猪三郎	明治23.5	2.1	28	小野 武男	昭和34.7	2.4
4	丸芳 保直	明治25.6	1.10	29	森田 隆信	昭和36.11	1.1
5	丸山信之助	明治27.4	2.0	30	西谷 義夫	昭和37.12	4.8
6	滝本佐太郎	明治29.4	2.7	31	小嶋 善雄	昭和42.8	1.8
7	久村 群介	明治31.11	8.2	32	池田 正信	昭和44.4	2.8
8	小野田直家	明治40.1	1.5	33	坂本 新蔵	昭和46.12	3.4
9	小西 永次	明治41.6	1.10	34	牧 仁之	昭和50.4	2.10
10	海藤 八郎	明治43.4	4.5	35	四方田浩亮	昭和53.2	2.2
11	寺尾辰之助	大正3.9	0.3	36	石橋 馨	昭和55.4	2.0
12	西山 忠太	大正3.12	2.5	37	内藤 正義	昭和57.4	1.0
13	栗山 忠男	大正6.5	3.4	38	森 正宏	昭和58.4	2.0
14	鈴木 定一	大正9.9	6.8	39	小倉 晴雄	昭和60.4	2.0
15	檜崎 要三	昭和2.5	2.0	40	笹島 輝男	昭和62.4	2.0
16	岡野 周蔵	昭和4.5	2.4	41	水中 進	平成元.4	3.0
17	中山 癸郎	昭和6.9	2.10	42	大野 勉	平成4.4	3.0
18	谷沢 逸衛	昭和9.7	2.10	43	守田 博典	平成7.4	3.0
19	木次音次郎	昭和12.5	1.3	44	秋田 豊樹	平成10.4	1.8
20	弓崎 貞夫	昭和13.8	2.5	45	大野 巧	平成11.12	1.8
21	松前 清治	昭和16.1	5.2	46	廣田 真人	平成13.8	2.8
22	松田 愿	昭和21.3	2.7				
23	平井 政道	昭和23.10	1.0				
24	近藤 良	昭和24.10	1.4				
25	久保田養一	昭和26.2	4.9				

■表紙/日原のシンボル：日原天文台がある枕瀬山から見下ろした、優しいたたまいの町並み日原町。天然鮎が遡上する清流高津川沿いに、島根森林管理署日原事務所があります。  
写真提供/日原町

明治40年植樹昭和40年2月3日選出  
アカマツ精英樹 日原101号

## 記念誌発刊にあたって



島根森林管理署日原事務所  
所長 廣田 真人

日原営林署は、明治22年（1889年）に広島大林区署浜田出張所として開設以来、幾多の変遷によりその名称等を変え、平成11年3月抜本改革に伴う組織再編により「島根森林管理署日原事務所」となり、この3月31日を以て115年の歴史にピリオドを打つこととなりました。

今後は、島根森林管理署の名のもとに高津川流域の国有林を一元的・一体的に管理することとなります。

国有林の成立から1世紀以上、戦後の林政統一から半世紀余が経過する中で、日原事務所は、西日本でも有数の木材生産の拠点として燃料・建築用材・戦災復興用材等国民生活になくてはならない資材を供給し、日本の経済と国民生活に大きく寄与してきたところです。更には、地域産業の振興や雇用の場の提供等々中山間地域の発展に少なからず貢献してきたところです。

この度日原事務所は閉庁となりますが、1市5町1村に約13,000haの国有林は将来とも存在するところであり、新たな組織の下、名実ともに国有林を「国民の森林」として管理経営していかなければなりません。

本誌は、これまでの歩んできた日原事務所の歴史を十分網羅できておりませんが、皆様の記憶の一ページとなれば幸いと存じます。

最後になりましたが、日原営林署当時から日原事務所時代に至るまで国有林の発展にご尽力頂いた先輩諸氏に改めて敬意を表するとともに、今日まで大変ご協力を頂いた地元市町村並びに地域の皆様に衷心よりお礼を申し上げ発刊の挨拶とします。

平成16年3月



心に残る現庁舎（昭和39年新築）



## 日原営林署での思い出



坂本 新蔵

私が、日原営林署にお世話になったのは昭和46年の暮れから50年の春までである。

当時は83名の職員の方が営林署員として自覚と誇りを持って勤務しておられ、「やはり明治より由緒ある署は違う、さすが日原営林署」と強く印象づけられたものである。

この優秀なる職員によって署の各事業等は全て順調で私の営林局署37年の在職中で最も良き日原時代であった。

順調に事が推移する時、突然予想もしない事柄が起こることがある。日原署でもこんな思い出がある。

昭和47年春のこと。突然、徳山の山岳会が防府・徳山周辺駅頭等でビラを配るなどして日原営林署管内国有林の伐採中止運動を展開し始めた。

マスコミはこれを見逃すことなく取り上げ、5月の山口テレビの30分番組の放映を契機に、朝日・毎日の大手新聞は勿論、地方新聞は別枠をもうけ毎週取り上げるなど各社に差こそあれ約1年に及んだ。

山岳会は署に再三訪れると共に、大阪営林局・林野庁・環境庁（現環境省）にと陳情にも出かけた。地方行政機関等も関心を持たざるを得なくなり、山口・鳥根両県・地方事務所や津和野警察署まで営林署に来訪する有様になった。



広葉樹なのに針葉樹の仮導管を持つヤマグルマ  
(15年8月匹見峡)

署は当時、山岳会が最も関心を持っている助ヶ岳には峰筋から谷筋にかけ、ブナ原生林の禁伐保護林を広く設定し、伐採箇所は、大面積伐採を避け、峰筋・尾根筋、ワサビ栽培敷き周辺は保護樹帯を設ける等、自然保護にきめ細かく配慮して実行していた。従って、この経営方針、現地の実状を管内地元市町村に説明すると共に山岳会に対しては徳山市内まで出かけ説明会を開催する等積極的な対応を試みた。



椋谷山国有林。  
助ヶ岳風景林として管理されている。

管内の市町村は、署の方針に理解を示し、誠に冷静そのもので、署の方針を終始一貫変えることなく対応できたのも、この市町村の冷静なる態度に寄るところが大きい。

明けて昭和48年5月の山岳会の来訪時、私は問題がだんだんと山岳会とは遊離してマスコミ報道だけが独り歩きしている印象を強く受けた。

そこで、今までの積極的対応を一步後退させ見守りながら推移していると、何時解決するともなく終結し、在任中再度起きることなく、この騒ぎは自然消滅となったのである。

この度の機構改革で国有林がなくなるわけではない。今後も国有林がその存在価値・意義を発揮していくことであろうし、そのことを願うものである。



晩秋に赤い果実が印象的なサネカズラ  
(15年11月若山国有林)

## 国有林への今後の思い



大野 勉

採用になった場所が日原営林署（昭和33年）、途中他署に転勤はしましたが、退職する前の最後も日原営林署（平成7年）、2回の勤務で通算12年勤務しました。その後、老後を過ごす場所が当署管内の益田市、と、日原営林署とは縁の深い人生を歩みました。

このたび、永い歴史と伝統のある日原営林署が廃止されることとなり、何か思い出話でも書け、とご指名がありました。あまり自慢できる思い出もありませんので、私なりに今までの反省を含め今後の思いを書いてみます。

これは、私自身のことですが、現役時代は山を歩いても、必要とする植物以外にあまり関心がありませんでした。もちろんそうした関心のない植物の名前は知りませんでした。ところが、退職して友達と山歩きをすると「貴方は、営林署に勤めていたから植物の名前は詳しいだろう」とよく言われます。

先日もテレビで「地上デジタル放送開始特別番組」で世界遺産の特集をやっておりました。世界には730件登録されているそうですが、日本ではすでに11件が登録されており、このうち2件が自然遺産で、他の9件は文化遺産です。テレビ番組の人気投票で人気が高いのは、やはり自然遺産です。この自然遺産はご存知のとおり「屋久島」と「白神山地」で、いずれも国有林です!!



夏頃赤い実が目立つゴンズイ  
(15年8月若山国有林)

このように、自然に対する関心は非常に高くなっています。そこで、私は老後の楽しみとして、今まで関心のなかった身近にある植物の名前を図書館で調べ、図鑑とインターネットから得た資料から自分流の「高津川流域植物図鑑」を作成中です。まだ、木本類だけで200種余りですが、関心を持って山を歩くと今まで気づかなかった樹種に次々と出会うことができる楽しみであります。

さて、今後の国有林は時代の流れで、木材生産林主体から公益林主体へ転換した今、人員も組織も縮小されますが、昭和40年代前半には定員内・外合わせて300人もいた職員が、今後は4つの森林事務所（5~6人?）で管理することとなり、その変化の大きさに驚くばかりであります。しかし、日原営林署がなくなっても、1万3千ha余りの国有林がなくなるわけではありません。

一口に森林の維持・管理といっても、内容の範囲は非常に広いし、面積も広い、また国有林は奥山に点在しているため、境界も複雑である。公益林主体の経営となったこの時期に、森林の生態系に関心を持ってみるのも良い機会かもしれません。

森林生態系に関心を持つために樹木・草花・キノコ・昆虫・動物・野鳥・土壌・岩石なんでもかまいません、木材生産以外に自分の好きなものを見つけて関心を持って業務に励んでいただきたい。日原営林署は動物・植物の種類が豊富で、海岸から標高1,300mまで所在し、自分の山が1万3千haもあります。

現役職員は少人数になりますが、経験だけは豊富なOBが沢山います。できる範囲でOBもお手伝いをする覚悟でいます。自信と誇りを持って国有林の維持・管理に励んでください。国有林の更なる発展を期待しております。



早春に黄色い花をつけるダンコウバイ  
(15年10月匹見峡)



# 115年のあゆみ

日原事務所には開設から閉所までの間に撮影された、数多くの写真が残されている。

「明治時代の貴重な写真、古人が成し遂げた偉業、生長を願い育んだ森林、生き生きとした人々の生活。」

ここでは、そんな115年間の歴史を語る写真の一部を紹介する。これらの写真を見て、貴方の心に持つ「日原」を忘れず、また、後生へ受け伝えてほしい。



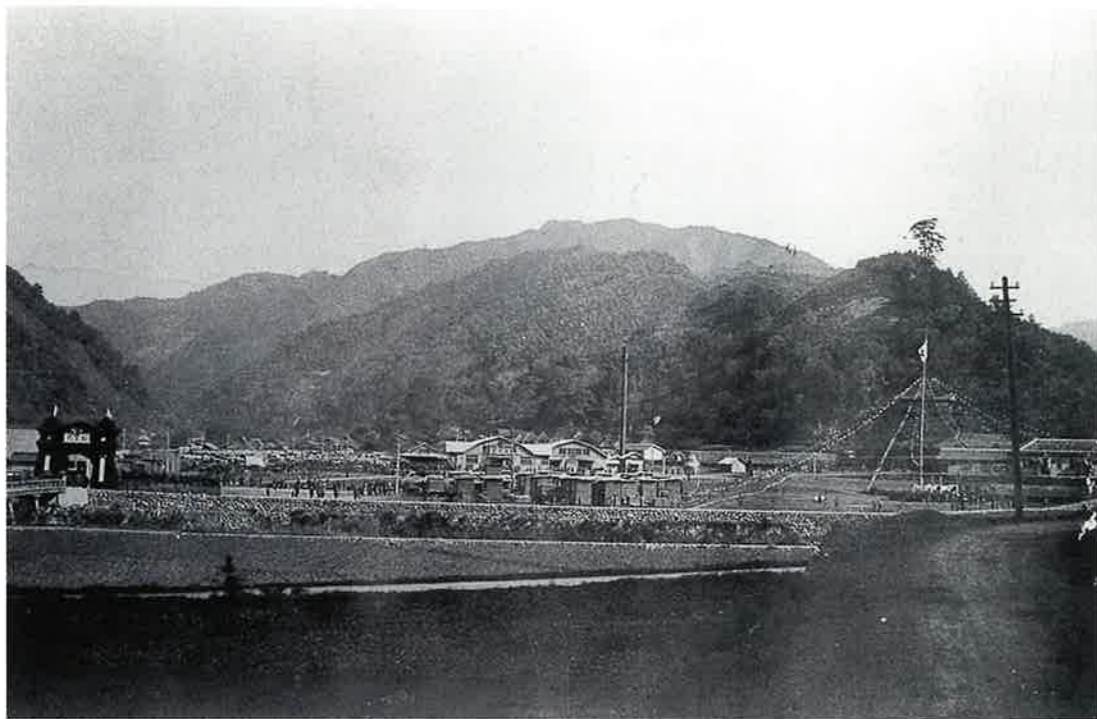
## 日原製材所創業式会場

(日原町枕瀬・明治43年)

明治40年着工。

当時官有製材工場は秋田と九州の人吉にひとつずつしかなく、中国地方ではここだけの大規模製材工場であった。

当時の資料に、「創業式は5月15日午前10時、工場の汽笛一声で式典は始まった。式典後は立食会が行われ、記念品にケヤキの割り盆が配られた。その後、優待者以上の来賓は、人力車、馬車を連れ、3時間かけて津和野にある宴会場へ向かった。」とあり、いかに盛大なものであったかが伺える。



## 日原小林区署庁舎竣工式

(日原町枕瀬・明治43年)

式典当日、関係機関並びに近郷近在の首長はじめ、あまたの来賓列席の記念写真である。

写真中央は日原製材事務所玄関、左は日原小林区署玄関である。

この庁舎は昭和39年4月(54年間)まで使用された。



# 115年のあゆみ

あの日旧庁舎前にて



## 営林署の桜

旧庁舎前の桜並木は日原の名所であった。道の両側に植えられた桜は花のアーチをつくり、近隣の花見客を向かい入れた。また、夜になるとぼんぼりを照らし、華やかに咲き誇る桜に酔いしれたのである。



## 檜橋

津和野川に架かる橋は、日原小林区署が、檜材を用い新設し、檜橋と命名された。鉄筋コンクリート橋に変わった現在も檜橋と呼ばれている。当時は今よりも橋の位置が低く、大雨が降ると度々水につき、渡れなくなることもあった。



## 御礼会(昭和30年元旦)

竣工式から45年目の庁舎前にて。当時、お正月には、女性は着物、男性もスーツに身を包み、新年のあいさつのため、庁舎に集まった。



# 115年のあゆみ

かつての集・運材風景  
(鈴ノ大谷国有林)



①斧での伐倒



②集材線に吊るためのワイヤー掛け作業。



③集材線で集積所に運搬中。



④機械集材線で集積場に集めた後、トロッコに積み込む。



⑤鈴ノ大谷には、林道鉄道が延長7km余り敷設され、トロッコによって栴谷工場まで運搬していた。



# 115年のあゆみ

かつての集・運材風景



鈴ノ大谷国有林の森林鉄道 栴谷製材工場へとつながる。



栴谷製材工場 内部



柿木村栴谷製材工場  
鈴ノ大谷の森林鉄道を下って  
たどり着く、栴谷製材工場。  
写真中央に製材工場・事務所、  
写真手前に貯木場・倉庫・従  
業員宿舎・購買部など、軒を連  
ねた。  
昭和24年に火災により閉鎖。



銘木級の木(ケヤキ)を貨物列車に乗せて関西方面に  
出荷するため、日原駅まで運搬。



日原営林署専用プラットホーム(日原駅)

インクラインとは 丸太を積んだトロッコの自重により、上方から下げ、その惰力によって空車を引き上げる、いわゆる「つるべ式」の運搬装置である。  
このインクラインは延長200m、最大傾斜42度、平均36度と大規模。



# 115年のあゆみ

現代の集運材と  
名木・ケヤキ材生産



ケヤキ  
S59年度高品質材生産  
猪木谷国有林  
28ろ林小班

高知式玉切装置→  
震動障害予防対策として、昭和50年度に導入。生産事業最盛期には大いに役立った。

### ヘリ集

平成元年より巨木を、平成10年からは奥地の間伐材をヘリコプターで運搬。



### ケヤキ

昭和60年1月23日公売  
直径=64cm  
長さ=5.8m  
材積=2,376m<sup>3</sup>  
1本あたり=¥1,551,000  
mあたり=¥653,000

### 公売の様子↓

木の太さ、素性、色合いが良く、高値で取引された。



# 115年のあゆみ

治山事業



練積堰堤(鈴ノ大谷国有林58林班)体積542.3m<sup>3</sup>、堤長19m、堤高10m。  
昭和初期に造られた練積堰堤。石は現地で石工が切り出したものを使用し、職人が一つ一つ積み上げていた。



鋼製谷止(栴谷山国有林79・80林班)  
平成14年度に設置。谷止の構造は、谷筋に生息する魚類・その他水生動物に影響の少ない、鋼製自在枠谷止とした。



昭和26年7月10日のケイト台風 被害状況



昭和38年 豪雪



昭和50年 大野原苗畑



昭和33年 日原営林署全職員の大運動会



昭和34年 植樹祭風景



平成9年 植樹祭風景



昭和39年 新庁舎竣工式



庁舎内執務風景 昭和時代



庁舎内執務風景 平成時代



平成元年 創立100周年記念式典



平成13年 日原保育園園児とのふれあい



平成13年 分収造林ニッセイ日原の森



平成15年 日原中学校と遊々の森を調印



現在(平成15年度)島根森林管理署日原事務所職員一同の集合写真 若山国有林にて  
日原事務所の最後の職員は、職員10人、森林官3人、基幹作業員3人、臨時職員5人、用務員1人、計22人。



柿木森林事務所 国有林4,677ha 官行造林22haを管理  
平成10年3月に建設。



六日市森林事務所 国有林1,914ha 官行造林330haを管理  
昭和45年に建設。



益田森林事務所 国有林2,456ha 官行造林136haを管理  
平成15年度に益田道路建設のため移転。



新庁舎:日原(上級)森林事務所 日原治山事業所  
国有林3,569haを管理。平成16年3月完成。



益田市(高津柿本神社)

海に面した、益田市。日本海の雄大な景色が望め、また新鮮な海の幸を堪能できる。歴史では万葉の代表的歌人・柿本人麿と画聖・雪舟のゆかりの地であり、格調高い芸術に触れることができる。



六日市町(水源公園)

高津川の水源・大蛇ヶ池。ここから流れ出た清流は、天然鮎やヤマメ、ゴキといった多くの生物の宝庫。それらを狙う太公望の姿が風物詩となっている。



美都町(美都温泉)

まるやかな湯触りでお肌がツルツルになると評判の美都温泉。美都町は県下一の生産を誇るゆずの里で、無農薬・無添加のゆずの加工品が盛り沢山に揃っている。



益・美・鹿



匹見町(裏匹見峡)

匹見町は総面積の97%を山林で占めており、自然豊かな町。その中でも西中国山地国定公園の匹見峡は、おだやかな印象の表匹見峡、男性的で荒々しい裏匹見峡、美しい滝が多くありシャクナゲが群生する深山幽谷の趣の奥匹見峡と豊富な広葉樹林や、清流と奇岩が織りなす美しい自然景観が見る人の心を和ませます。



日原町(日原天文台)

日原天文台は一般公開では国内最大級の規模を誇る75cm反射望遠鏡を備え、星空の観察ができる。周辺には資料館、ペンションなどの施設も備わっている。特産には、清流高津川でとれる天然鮎、日本一の生産量ワサビの醤油漬。どちらも「美味」と大人気だ。



柿木村(大井谷の棚田)

室町時代末期から江戸時代にかけて開拓したものと言われ、600枚以上ある石積棚田が美しい景観を見せている。この景観を守るために、平成11年度から棚田オーナー制度やトラスト制度を整えたり、ブランド米として販売したりと、棚田を保存する取り組みを試みている。また、ラジウムたっぷりの褐色の温泉「木部谷温泉」、泉質の良さが評判だ。



津和野町(鷺舞)

(殿町)

美しい町並みと鷺舞などの伝統行事で知られる津和野は中世から続く城下町。森鷗外や西周など明治政府を支えた人材を輩出した。そうした歴史と町並みが相成って、「山陰の小京都」と呼ばれる風情をかもし出している。